

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達ルームらんらん		
○保護者評価実施期間	2026年3月1日		～ 2026年3月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38	(回答者数) 27
○従業者評価実施期間	2026年4月1日		～ 2026年4月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年4月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	複数の専門職を配置して、幅広い視点から児童の支援プログラムを作成して、総合的な支援ができるような体制を整えている	夕礼などでカンファレンスの実施し、支援方法が適切であるか の他職種を含めた検討と再考の実施	未配置の専門職の採用と研修の強化(令和8年度から作業療法士を常勤で採用し、充実強化を図った)
2	看護師を常勤配置して医療的ケア児の利用受け入れ体制を整えている	経験豊富な看護師の配置と更なる加配の実施 非常勤看護師の採用実施	地域の訪問看護ステーションとの連携
3	集団療育も小集団として、マンツーマンに近い体制で手厚く丁寧に関われるような体制を整えている	集団療育と個別療育とを分離させ、できるだけ小さな集団とし、職員を加配して、マンツーマンに近い支援体制の構築	個別療育も専門職が交代で関わるなどの支援体制の強化(令和8年度から作業療法士を常勤で採用し、充実強化を図った)

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園、幼稚園、または放課後児童クラブや児童館との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がない	他の園の都合もあり、活動中に交流の機会を設ける事が困難なため	交流の機会につなげていけるよう、担当者会議などの折に、保育所や保育園の先生とコミュニケーションを取るようになっていく
2	未配置の専門職の分野の知識が乏しく、全方位のサービス提供ができていない	専門職自体の採用が難しいことと、今以上の専門職を増員する場合の財源不足	職員の欠員時にこれまで未配置となっている専門職を採用し配置していく(令和8年度はこれまで未配置だった作業療法士を配置し体制の強化を図った)
3			